

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36780	
事業名	地域ぬくもりサポート事業費						
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課					
	課長名	渡邊 亘	担当者名	川畑 和樹	電話番号	011-211-2938	
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	障がい児者を対象とした地域住民による有償ボランティアを推進する仕組みの整備				
		長期	障がい児者を対象とした地域住民による有償ボランティアを推進する仕組みの整備				
	取組内容	【背景】障がい児者にとって地域で暮らしやすいまちづくりを進めるためには市民の理解促進が不可欠であり、普段から市民が障がい児者と接する機会が必要である。また、公的サービスのみならず、地域住民の力を活かして身近な地域で支えていく活動も必要となっている。 【取組内容】利用者及び地域サポーター(有償ボランティア)の登録・マッチングを行う「地域ぬくもりサポートセンター」を設置し、ボランティア活動全般に関する支援を行う。					
	実施結果	令和3年度の利用者登録数622人、地域サポーター登録者数545人、延べ支援件数1,680件					
事業実施における工夫点	障害福祉サービス事業所等を運営する社会福祉法人にサポートセンター業務を委託することで、従業者の専門性の確保に努めている。また、サポートセンターを市内3か所に設置し、利用者及び地域サポーターの身近な地域内でのマッチングを行っている。						
対象者	障がい児者及び関連事業所等			開始	平成24年度	終了	0年度
関連法令・条令・要綱等	札幌市地域ぬくもりサポート事業実施要綱 札幌市地域ぬくもりサポート事業実施要領						
他都市の状況	横浜市にて、障がいのある方の外出に特化したガイドボランティア事業を実施。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	16,980	18,000	17,032	18,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.6	0.6	0.6	0.3	
人件費	4,320	4,320	4,320	2,160	
計(事業費+人件費)	21,300	22,320	21,352	20,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	サポートセンター委託料 17,006千円 ボランティア保険料負担金 26千円			
	令和4年度予算	サポートセンター委託料 17,932千円 ボランティア保険料負担金 68千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	地域サポーター登録者数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	542	627	545	588
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	延べ支援件数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	1,705	1,933	1680	1718
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響もあって令和3年度は延べ支援件数が減少したものの、利用者登録数及びサポーター登録者数を増やすことができた。</li> <li>・障害福祉サービスなどの法定サービスで実施できないニーズに対応した支援が行えるので、障がいのある方の地域生活を充実させることができています。</li> </ul>		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者全体を対象としており、多様なニーズに対応できる制度となっている。</li> <li>・市民に対して地域で暮らす障がい者との接点をつくり、相互理解する場ともなっている。</li> </ul>		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な状態像の障がい者がいてその環境も異なることからニーズが多様化しており、法定サービスで対応できないニーズも増えていくと思われる。</li> <li>・障がいに対する市民の理解を向上させて、地域で支援することで多様なニーズに対応することが可能である。</li> </ul>		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービスなどの法定サービスでは受けられない支援を受けることができ、生活の質の向上が図られている。</li> </ul>		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者登録数、サポーター登録者数を増やすため、効果的な登録会の実施手法を追求していく。</li> </ul>			
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンでの登録会イベント開催</li> <li>・地下鉄駅にポスター掲示</li> <li>・広報さっぽろへの掲載</li> </ul>		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	サポートセンター会議を通じて関係者から課題を抽出し、効果的な事業実施に向けて改善を行っているため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年より実施している、市内商業施設での事業周知イベントについて、引き続き開催して事業の周知及び新たな地域サポーターの獲得に努めるとともに、研修会等の開催を通じて、既存の地域サポーターの意欲向上及びスキルアップを図ることで、活動率の向上につなげる。</li> </ul>		
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度と同程度。</li> </ul>		見直し効果額 0 千円